

2022年度 小論文テーマ

■一般推薦・同窓生推薦入試（制限時間 60分 字数制限 800字）

工 学 部

これからの多くの産業においてICT 技術の活用が有効になると言われている。どのような業種でICT 技術が有効となるか例を挙げて考察し、それらが日本社会の持続可能な発展目標（SDGs）にどう関わり得るかについて記述せよ。

経営情報学部

総務省の令和2年度版『情報通信白書』によると、2010年から2019年にかけて家計の年間消費支出は302.8万円から299.6万円に減少している。一方、消費支出に占める携帯電話通信料の割合は2.64%から3.45%に増加し、支出額でも年間約8.0万円から10.3万円に増加している。なぜこのような変化が生じたのか、またそれは日本経済にとって何を意味しているのか、自分の考えを述べなさい。

国際関係学部

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、世界各国の出入国が抑えられ、様々な国際的な人の移動がきわめて少なくなっている。観光旅行はもちろんビジネスでの出張や駐在が難しくなり、移民や出稼ぎをする人々も移動ができず他国に取り残されているものもある。留学生も目的国に入国できない状況が続いている。このような国際的な人流の減少は、日本を含む世界の国々の政治・経済・社会・文化にどのような影響を及ぼすだろうか。自分の意見を述べなさい。

人 文 学 部

2015年の国連サミットにおいて、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGs（Sustainable development Goals：持続可能な開発目標）が採択されました。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。その背景には、現在の世界が、環境や社会システムなどの様々な面で、今後持続不可能に陥るリスクを孕んでいることがあります。日本でも政府、企業はもちろんのこと、学校などでもSDGs 教育が展開されており、SDGs 達成の観点から自分という存在やその活動を見直し変えていく、いわゆる「自分ごと化」のプロジェクトなどの取り組みが進んでいますので、みなさんも知っていることと思います。17のゴール（貧困、飢餓、保健・福祉、教育、ジェンダー、水・衛生、エネルギー、働きがい・経済成長、産業・技術革新、不平等、まちづくり、生産・消費、気候変動、海洋資源、陸上資源、平和・公正、パートナーシップ）のうち、あなたが最も「自分ごと」として捉えられるものを一つ選んで、その項目に関して知っている限りの状況、それが自分にどのように関わるか、ゴール達成に向けて自分に何ができるかなどを論じてください。

参考文献：「JAPAN SDGs Action Platform」『外務省Web ページ』

応用生物学部

私たちがこの地球で暮らし続けていくために「地球と調和した人類の豊かな生活」の確立、すなわち「発展と保全の両立」が必要ですが、そのために解決が求められる課題は、一つの国の力では答えが出せないために「地球規模課題」と呼ばれています。中部大学応用生物学部では、「生命」「環境」「食」をテーマに、「生物の力」を活用した地球規模課題の解決を目指しています。大学受験生のあなたは、地球規模課題のうちどのような問題に関心がありますか。そして、あなたが進学を希望する中部大学応用生物学部の学科、専攻で、どのようなことを学び、これから30年間で地球規模課題の解決に役立てたいと考えているか、あなたの考えを聞かせてください。

生命健康科学部

2020年から今年にかけて、わが国では新型コロナウイルス感染症が流行し、現在も今後の消長に関心が払われています。新型コロナウイルス感染症の流行は、健康上の問題としてだけでなく、日常生活や社会生活をも変化させました。このような背景をもとに、新型コロナウイルス感染症に対する今後の対応について、予防や医療、健康の側面、生活上の側面、社会的な側面からあなたの考えを記述しなさい。

現代教育学部

いじめ防止対策推進法（平成25年9月28日）が作成されるなど、国を挙げていじめ撲滅を目指しています。しかし、学校でのいじめはなくなりません。小学校・中学校・高等学校の中から一つの校種を想定し、その校種において、あなたが考えるいじめがなくなる最大の原因を記述してください。次に、いじめのない学校を実現するために、幼少期からどのような支援や指導等を行うことが効果的だと思われるかを、理由を添えて論述してください。